

2010 (平成 22) 年 8 月 1 日 第 29 号

発行：(福) 十字の園本部事務局  
理事長 平井 章

住所：〒431-1304  
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11  
tel 053-436-9535  
fax 053-437-1352

社会福祉法人 十字の園

# ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)



「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」ローマの信徒への手紙 12章 15節

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

介護保険制度が始まって10年が経ちました。そして来年は、御殿場十字の園創設40周年を迎えます。この節目の時期に、私はすべてが「愛がなければ、無に等しい」という主の教えを改めて意識していきたいと思います。

権利としてのサービス利用の浸透、そしてサービスの量や種類の増加は介護保険制度の一つの成果だと思います。しかし一方、施設では効率化や合理化を進め、一定の収益が求められるようになりました。多様化・高度化する福祉ニーズに対し、専門職として膨大な知識と技術の取得も求められております。そのこと自体は必要なことと思いますが、決して目的ではありません。相手を思う気持ち、相手を理解しようとするところからはじまらなければ意味がありません。

この4月から施設長として就任いたしました。創設時からの聖書の御言葉「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を理念に据え、これからも目的を見失うことなく常に利用者を思い、職員共々歩んで参りたいと思います。



## 1. 50 周年記念事業

社会福祉法人十字の園は、1960 年 12 月 28 日に社会福祉法人の認可を受けてから、今年で 50 周年になります。現理事長である私は四代目です。初代理事長から前理事長の下で働いてきましたが、現職の職員の中で創設の頃に関わった人たちと共に働いた経験を持つ人は数えるほどです。「創設の理念の継承、キリスト教社会福祉の継続」が、現理事長、施設長を含め、管理的立場にいる職員の使命です。

十字の園では、50 周年記念「十字の園大会」の開催、功労者表彰、記念誌の発行とともに、次世代を担う職員を対象とした「平井塾」を開講します。施設長をはじめ共に働く職員たちには、十字の園の理念を自らの口で語り、その使命感、召命感を抱き、明るく楽しく前に向かって進む元気と自信を持って新しい時代を築いていただきたいと思っています。

平井塾の第 1 回主題は「仕える」、第 2 回「学ぶ」、第 3 回「みる、きく」、第 4 回「話す、語る」として開催する予定です。

## 2. 聖隷人の生き方を見る

「聖隷の創始者である長谷川保氏は、聖書を通して自分の人生は、隣人愛に生きることにあると教えられ、浜松の地に帰ってクリーニングの仕事を手始めに行った。私はこのクリーニング店へ、知らない人に何の前触れもなく連れて行かれた。当時（1929 年 4 月）私は 17 歳。希望を失い、死を求めての日々であった私が、不思議なことに、将来私の生き場所になる聖隷に運ばれたことは、全く人知のおよぶところではない。（中略）4 月の集金を、全く得体の知れない私に任せたままで、全然確かめもせず、ご苦労様でしたと丁寧に労わられ戸惑ってしまった。実に私の全存在が揺さぶられる体験でした。それ以降、意味のない生活から意味のある人生へ（中略）神が摂理の手綱によって、私の人生の出来事一つ一つを御心のままの方向へと持ち運ばれた。」と鈴木唯男氏は教会の週報に記しています。ここに「聖隷人」の生き方を見ることが出来ます。

## 3. ディアコニッセの精神と母の家の教育

同じ敗戦国であるドイツから日本の戦後復興のために来たディアコニッセ（奉仕女）の 5 人の女性と一人の女性宣教師を受け入れたのは聖隷でした。宣教師のストロームさんは釜ヶ崎で 20 年活動され、



今もその働きが継承されています。姉妹たちが、日本への派遣という自らに示された道を、神の命令、自らの使命、召命と捉えることができたのは、「母の家の教育」というディアコニッセとしての教育訓練でありました。

ディアコニッセの一人であるハニ・ウォルフさんによって、日本で最初の特別養護老人ホームが創設されました。ディアコニッセの「仕える」姿勢は、十字の園の働きの中に加えられ、今も継承されています。

## 4. 十字の園人の生き方

創立時の役員は、理事鈴木生二、長谷川保、西村一之、ハニ・ウォルフ、山浦ミツ、市川一二三、監事鈴木唯男、宮崎洋の 8 名です。

施設の職員は、鈴木生二、綿鍋義典、ハニ・ウォルフ、鈴木フミ、市川一二三、若杉正子、佐藤幸子の 7 名です。この方々によって十字の園の歴史が始まりました。

十字の園の創設に当たってハニ姉妹は、「老人ホームはいつまでも神様の力の大きさでやりたい。私たち働く人はみんな十字架の下でだけ一つになって働く団体にしたい。」と話されています。毎朝礼拝をささげ、讚美し聖書を読みメッセージを聴いて一日を始める。ここに「十字の園人」としての生き方を見ます。それは「イエスに倣う」十字の園の先輩の生き方です。パウロがコリントの人に「わたしがキリストに倣う者であるように、あなたがたもこのわたしに倣う者となりなさい。」（I コリント 11:1）と語った言葉は、十字の園の先輩たちから、十字の園を継承する現職の私たちに向かって語りかけているような気がします。

## ウォーキングで健康維持

評議員 竹中 洋次



皆さんはじめまして、今年から法人評議員を拝命しました竹中と申します。皆様はそれぞれご自身の健康法をお持ちと思いますが、私の健康維持にはウォーキングが欠かせません。私がウォーキングを始めたきっかけは、息子にせがまれ飼い始めた小型犬の散歩でした。考えて見ますと自宅の周りを子犬との散歩を始めてから二十年以上になります。飼い犬が成犬になりかなりの距離と一緒に散歩をしているうちに体調のよくなること。悩み事が有っても深呼吸を繰り返し目線は遠くを、両腕を大きく前後に振り散歩道から見える植物や遠くの山並み、早朝なら朝日を思いっきり浴び深呼吸、夕食後なら満天の星空を見ながらのウォーキング、いつの間にやらさっきの悩み事は何だったのかと思えるようになったものです。

しかし永い人生には、思いも抛らぬ手術入院などの出来事が発生することもあります。私の場合も健康診断より手術入院のときがありました。身体に何本かの管が入ったままやっとのことでベッドを離れ、窓の外を見たとき楽しげにウォーキングをしている人を見て、何が何でも一日でも早く退院し自分の足で地面を歩いて見せるぞの強い思いがふつつつ湧いてきたことを今思い出しております。

ウォーキングを寒い冬場、気候が良い季節、気温が上がり暑い季節などやめたくなるのを払拭させ続行させる秘訣をお教えします。ウォーキング途中の道端に、自分専用の一メートル四方程度の地面を定点観察場所としてみてください。その地面に寒い早朝、紅梅に朝日が差し紅色の花びらに「ああ日本に生まれてよかった」とか、春先には土筆が芽生え、初夏には青々と茂る一面の草と四季の移り変わりを楽しむのも「さあ今日も楽しくウォーキングで観察場所へ」と元気に続行できますよ。私はウォーキングで足腰鍛えられ毎日元気に生活できています。感謝・感謝。

## 「伊豆高原十字の園移転改築整備事業進捗状況報告 3」

伊豆高原十字の園 施設長 青木 克文

今年度の最大の事業である伊豆高原十字の園移転改築整備事業が本格的に始まりました。伊豆高原十字の園が、全室個室ユニット型（入所 90 名＋短期 10 名）、地域包括支援センター等を併せ持つ総合福祉施設に生まれ変わります。事業費もほぼ決まり、建物本体工事に 13 億 3980 万円、土地の取得・用地の造成・仮設防災工事等に 1 億 4700 万円、設計管理・備品費等で 1 億 3500 万円、その他に各種調査・申請事務・既存施設の解体費用等を合せて、総事業費が 17 億 1930 万円程になります。

2 月には実施設計を終え、国立公園内の新築許可もいただき、伐採、整地舗装、仮排水工事等の仮設防災工事により、用地の形状が明らかになりました。5 月 28 日には入札を実施し、石川建設(株)による本体工事が始まりました。今後は 12 月に定礎式を行ない、2011 年 3 月の完成を目指しています。

一方、伊豆高原十字の園では、職員が新施設の移転に向けて勤務体制の見直しやシミュレーションに取り組んでいます。食事についても、現在の個別配膳から、生活の場となるユニットでの盛り付けを試行するなど、着々と準備をしております（職員募集について 7 ページを参照）。今後共、皆様のご支援を宜しくお願い致します。



# 2009(平成21)年度 決算報告

福祉事業会計 貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	903,450	流動負債	68,247
現金預金	500,314	未払金	45,112
未収金	398,270	預り金	22,455
未収補助金	1,367	前受金	680
立替金	402		
前払金	3,097	固定負債	977,028
固定資産	3,775,166	設備資金借入金	786,073
基本財産	3,285,224	長期運営資金借入金	0
土地	557,896	他会計区分長期借入金	33,500
建物	2,727,328	長期預り金	122,064
その他の固定資産	489,942	退職給与引当金	35,391
土地	89,672	負債の部計	1,045,274
建物	3,212	純資産の部	
構築物	674	基本金	870,123
車輦運搬具	12,167	国庫補助金等特別積立金	1,684,728
建設仮勘定	26,516		
器具及び備品	33,675	積立金	148,517
権利	2,250	施設整備等積立金	108,001
他会計区分長期貸付金	33,500	修繕積立金	13,000
施設整備等積立預金	108,001	建設積立金	26,516
修繕積立預金	13,000	備品等購入積立金	1,000
管理費積立預金	122,064	次期繰越活動差額	929,973
備品等購入積立預金	1,000	(うち当期活動収支差額)	122,255
退職共済預け金	35,391	純財産の部計	3,633,341
福利厚生資金預け金	8,600		
長期預け金	220		
資産の部計	4,678,616	負債・純財産の部計	4,678,616

福祉事業会計 事業活動収支計算書 (単位:千円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費	1,890,738	介護保険収入	2,698,391
経費	636,742	国庫補助金等特別積立金取崩額	121,673
(直接介護費)	384,133		
(一般管理費)	252,609		
利用者負担減免額	4,216		
減価償却費	202,352		
引当金繰入	8,179		
事業活動支出計	2,742,227	事業活動収入計	2,820,064
借入金利息	10,243	借入金利息補助金収入	3,874
その他の事業活動外支出	11,975	受取利息配当金収入	662
雑損出	3,366	寄附金収入	19,490
		その他の事業活動外収入	14,079
		雑収入	16,473
事業活動外支出計	25,584	事業活動外収入計	54,578
国庫補助金等特別積立金繰入額	67,102	施設整備等補助金収入	66,869
固定資産除売却損	0	施設整備等寄付金収入	233
他会計区分繰入金支出	164,632	国庫補助金等特別積立金取崩額	0
その他の特別支出	47,610	固定資産売却益	283
		他会計区分繰入金収入	164,632
		会計区分外繰入金収入	15,035
		その他の特別収入	47,715
特別支出計	279,344	特別収入計	294,767
当期活動収支差額	122,254	積立金積立額	60,617
前期繰越活動収支差額	868,336	次期繰越活動収支差額	929,973

診療所会計 貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	26,648	流動負債	1,004
現金預金	22,775	未払金	1,004
未収金	3,374	固定負債	0
薬品	499	負債の部計	1,004
		純資産の部	
固定資産	594	基本金	0
器具及び備品	594	次期繰越活動差額	26,238
		(うち当期活動収支差額)	26,238
		純財産計	26,238
資産の部計	27,242	負債・純財産の部計	27,242

診療所会計 事業活動収支計算書 (単位:千円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事務費支出	6,023	診療収入	22,730
診療支出	6,773	診療外収入	1,930
事業活動支出計	12,796	事業活動収入計	24,661
施設会計繰入金支出	6,135	受取利息配当金収入	17
本部会計繰入金支出	6,900	雑収入	3,812
事業活動外支出計	18,931	事業活動収入計	3,829
当期活動収支差額	2,484		
前期繰越活動収支差額	23,754	次期繰越活動収支差額	26,238

就労支援会計 貸借対照表 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	12,948	流動負債	761
現金預金	4,223	未払金	761
未収金	8,153	固定負債	511
仕掛品	292	退職給与引当金	511
原材料	280	負債の部計	1,272
固定資産	6,493	純資産の部	
車輦運搬具	1,259	その他の積立金	1,500
器具及び備品	3,223	次期繰越活動差額	16,669
備品等購入積立預金	1,500	(うち当期活動収支差額)	8,750
退職共済預け金	511	純財産計	18,169
資産の部計	19,441	負債・純財産の部計	19,441

就労支援会計 事業活動収支計算書 (単位:千円)

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
製パン事業支出	5,229	製パン事業収入	7,618
縫製事業支出	1,655	縫製事業収入	782
陶芸事業支出	1,102	陶芸事業収入	185
他の事業支出	203	他の事業収入	43
下請事業支出	1,521	下請事業収入	1,790
就労支援事業活動支出	9,710	就労支援事業活動収入	10,418
人件費支出	23,444	自立支援費収入	33,519
事務費支出	2,493	その他の事業収入	4,020
事業費支出	764		
減価償却費	797		
福祉事業活動支出	27,498	福祉事業活動収入	37,539
会計単位間繰入金支出	2,000	受取利息収入	1
事業活動外支出	2,000	事業活動外収入	1
当期活動収支差額	8,750		1,500
前期繰越活動収支差額	9,419	次期繰越活動収支差額	16,669

財産目録 (単位:円)

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金	静岡銀行他	428,789,796
定期預金	静岡銀行他	98,522,058
未収補助金	(介護報酬他)	409,798,132
立替金	介護労働者設備等整備モデル奨励金	1,367,100
前払金	社会保険料職員他	401,948
貯蔵品	建物保険料他	3,096,811
仕掛品	(棚卸残高)	498,960
原材料	ワークショップマナ	291,775
	ワークショップマナ	279,600
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	地 (28筆 27,637.48㎡)	3,285,223,288
建物	物 (10棟 22,859.29㎡)	557,895,776
		2,727,327,512
(2) その他の固定資産		
土地		89,671,700
建物	(倉庫・物置)	3,212,369
構築物	(門扉・陸橋等)	673,865
車輦運搬具		13,425,262
器具及び備品		37,491,881
建設仮勘定		26,515,800
権利	(松崎温泉利用権)	2,250,000
他会計区分長期貸付金	(伊東市養護老人ホーム会計)	33,500,000
施設整備等積立預金		108,001,388
修繕積立預金		13,000,000
管理費積立預金	(ケアハウス入居一時金)	122,064,000
備品等購入積立預金		2,500,000
退職共済預け金	(退職共済積立金)	35,901,711
長期預け金		220,500
福利厚生資金預け金		8,600,000
資産の部合計		4,725,297,944
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	(業者支払い他)	70,011,705
預り金	(所得税他)	46,876,913
前受金		22,454,792
		680,000
2. 固定負債		
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構 5口	977,537,971
設備資金借入金	静岡県社会福祉協議会 2口	704,815,000
設備資金借入金	静岡銀行 1口	1,257,260
他会計区分長期借入金	(伊東市養護老人ホーム会計)	80,000,000
退職給与引当金	静岡県退職共済	33,500,000
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金	35,901,711
		122,064,000
負債の部合計		1,047,549,676
差引純資産		3,677,748,268

## 各施設からの事業報告

### 浜松十字の園 施設長 山本 隆弘

昨年6月の「第2アドナイ館」開設に伴い、施設長を始めとする職員の異動や組織体制の変更など変化の激しい一年でした。みなさまのご理解とご協力をいただき中で一年を終えることができ感謝いたします。

事業理念「今、私の前にいる、その人の、すべてを、大切にします。」と実際に行われている一つ一つのサービスが直結していることを会議や研修、実践の場で確認し合いながら、理念の継承・サービスの質の向上・人材育成に取り組みました。また、新型インフルエンザが猛威をふるった年でしたが、感染対策へのご理解・ご協力をいただきノロウイルスなども含めた感染症の発症をゼロに抑えることができ、ご希望に沿った利用を継続できました。認知症通所介護「のんき」の利用待ち解消のため9月に定員を5名増やしました。

### 御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

平成21年度は、私は前任者上野施設長の下、次長として勤めてまいりました。施設として、御殿場教会のご協力をいただきながら、毎朝の礼拝を欠かすことなく、キリスト教の精神を土台に据えた一日が始められるよう心掛けました。

事業としては、介護報酬改定に伴ない各種加算算定が可能なように体制整備を行いました。特に、居宅介護支援事業所に主任ケアマネを配置し、24時間連絡可能な体制を確保したり機能強化を図りました。

### 伊豆高原十字の園 施設長 青木 克文

毎日の礼拝を守り、更に今年度の職員全体勉強会のテーマ「キリスト教的働き」について内田牧師に3回の講演をいただき基本理念の継承と実践のために研修しました。

1年後の移転改築に向けて介護の現場では「あなたのために」生活の改善を再検討し、在宅部門についても業務見直しによって諸加算の取得ができました。結果、施設全体での収益増につながりました。今後は新施設での利用者生活の充実に向けて職員一丸となって再構築してまいります。

### アドナイ館 施設長 上野 貢一

定款の目的「キリスト教精神に立って、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活が地域社会において営むことが出来るように支援する」を朝の礼拝を軸に様々行った。6月第2アドナイ館開設に伴い施設から入居者9名移動。第三者評価事業を受審、ホームページ開設、VDSL工事をし居室でもインターネットが出来る環境整備。デイでは、地域で住み続けられるように介護度5の方も受け入れた。3月末に宮岸孝一施設長が退任。

### 松崎十字の園 施設長 三條 洋二

2009年度の松崎十字の園の高齢者については、重度化が進み19名の利用者が天に召され、ターミナルケアにより亡くなった方が16名おられました。利用者との関わりの中で学ぶ事が多くありました。

障害施設オリブは、高齢化や疾病への対応が求められました。特に障害や加齢等に伴う機能低下に対して専門の機能回復訓練の必要があると感じています。

作業所マナは、製造する品物の品質の向上を求められる年でありました。

### 伊東市立養護老人ホーム 施設長 森 茂廣

平和の杜の事業報告・指定管理5年間の総括

1. 円滑な引き継ぎとサービスの継続
  - ・老人クラブ連合会員として活動に参加できた。
  - ・施設退所後も、お別れ会迄関わることができた。
2. サービスの改善・普通の暮らしへ向けて
  - ・食事は時間差でゆったりと、夕食は18時に。
  - ・入浴は週6回、夕食の前後に改善された。
  - ・集会室、食堂、静養室を寛げる居間とした。
3. 健全な運営で将来への展望を開く
  - ・3種の介護保険事業を開設、運営することでサービスの充実と、収支の改善を実現できた。

### 第2アドナイ館 施設長 平井 章

平成21年6月に開設した地域密着型特定施設入居者生活介護事業としての定員20名のユニット型ケアハウスの一年目は、「自分らしく、その人らしく、生き生きと、あなたの“生きる”を支えます」を目標に、特別養護老人ホームでもケアハウスでもない施設のあり方と方向づけができたと思っています。入居者お一人おひとりが、個性的にご自分の生活として過ごされています。関わる職員にとっては、まだまだ戸惑いがあると思いますが、それでいいのです。

## 青空給食（炊出し訓練）

浜松十字の園 鈴木淳司

今年度浜松十字の園では、防災訓練で炊出し訓練を計画しました。利用者の方にも楽しんでいただけるように、その日のお昼を青空給食にして、楽しんで訓練に参加していただきました。

多くの職員が非常時に、食事の提供ができる様に、それぞれの作業工程などを写真に撮りました。参加したメンバーは、ドキドキしながら、管理栄養士の指導の下、150人分のご飯を用意しました。150人分と聞いて大変そうだなあと思いましたが、お湯さえあれば（お水でも可）、ダンボールの中のご飯の素に、用意したお湯を注いで出来上がり!!ととても簡単でした。ご



飯ができるまでの間、カレーの大きな缶詰を湯煎で温めたり、けんちん汁の素にお湯を注いで汁物を作ったりしました。



お湯があれば、非常時にもこんなに温かくて美味しいご飯が食べられるんだあ!と利用者さんと一緒に感心し、笑顔で青空のもと給食を食べる事ができた炊出し訓練でした。

## 「介護予防教室」

伊豆高原十字の園 大崎裕子

今年の1月より伊東市の委託を受け、介護予防教室「かがやき」を開催しています。65歳以上の特定高齢者を対象に週1回、全12回を1クール（3ヶ月）の教室です。

転倒予防体操に力を入れ、筋肉向上運動や難易度の高い脳トレーニング、音楽に合わせてながら、体を動かすチェアエクササイズ…時には遊び心いっぱいの指体操など盛りだくさんのプログラムをおこない心身の向上を図っていますが、なかでも脳刺激体操などは皆さん苦戦しながらも教室には笑い声が響き合っています。「体を動かしていると調子が良い」「肩がとても楽になった」などの喜びの声をたくさん頂いております。

これからも利用者の方に喜び愛される教室づくりを目指し、スタッフ一同がんばっていきます。



## 「ほうとう」と「湧水」

御殿場十字の園 松井ゆかり

5月21日にドライブ外出でお隣の山梨県へ行ってきました。天気がどうか心配でしたが、まさに五月晴れの暖かい最高のお出かけ日和となり安心しました。利用者さんたちは、朝早くからおめかしをして、出発を楽しみに待っていました。まずは山梨の郷土料理の『ほうとう』を食べに行きました。山梨へ向かう途中、田植えの終わったばかりの田んぼを見て「きれいに植わってるなあ、ありゃ機械でやってるな。」や、茶畑を見て「もう、茶摘は終わったのかな。」など、皆さん外の景色を興味津々で見っていました。施設の中だと四季を感じる機会が少ないので、新緑やさわやかな風を感じることができ、とても喜ばれていました。お楽しみの昼食のほうとうは、熱々で野菜がたっぷり入っていて皆さん「美味しいね。」「味噌の味がちょうど良いね。」と、笑顔で召し上がっていました。かなりのボリュームがあり食べきれないくらいでしたが、男性の利用者さんはしっかり野菜も麺も残さず完食されていました。次に、山梨県立富士湧水の里水族館へ行きました。河川や湖沼に住む魚の水族館なので、身近でよく知っている魚をじっくり見ることができ楽しかったです。富士山の湧き水を触れられるところでは「冷たい!!」と、おっしゃりながらも嬉しそうに手を水の中に入れていました。帰りの車の中では、満喫されたのか気持ちよさそうに居眠りをされる人もいるくらい、楽しいドライブ外出となりました。



## メガネは体の一部

アドナイ館 安田匡豊

メガネ相談日として平成15年2年よりメガネ店が月2回来園し、12:00~13:00まで1Fのロビーで開店。昼食後、眼鏡洗浄をしながら眼鏡の相談に乗ってくれています。現在まで18個の眼鏡を作って頂きました。



何度も試着して本人の顔に合うサイズ・要望に答え、眼鏡選びのお手伝いを通じて、眼が見えるって本当に素晴らしい事を伝えてくれています。（馬場眼鏡店）

## 海鼠(なまこ)の酢の物

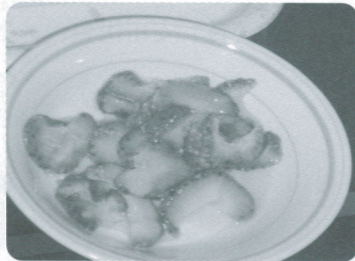
松崎十字の園 馬場弘



松崎十字の園は、海から直線距離 300 メートル。すぐ横を流れる川の満潮時には潮が登り、鯰(ぼら)や河豚(ふく)が沢山見られます。その身近な海から獲ってきたばかりの海鼠を、以前、魚屋さんを営んでおられた入所者の土屋さん指導の下、酢の物にしました。「塩をふって回りのヌルヌル

を取って、そこを切って…」と丁寧に教えて下さり、最後に混ぜる三杯酢の味も確認して頂きなんとか完成！希望される方に出したところ「珍しい」と好評でした。

当の土屋さんは「固いな、でも旨い」と久しぶりのゲテモノに満足されていました。



## 『おどらにゃソ♪ソ♪』

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 川尻寿

桜の蕾が少しずつ膨らみ始め、春が来るのを待ちわびていた皆様に素敵なお知らせ、阿波踊りの『駿府連』の皆様が慰問に訪れてくれました。阿波踊りは日本三大盆踊りにも数えられ 400 年もの歴史があり、その独特な踊り方が特徴的です。なかでも一人が凧を操る役、もう一人がやっこ凧として操られる様を表現した『やっこ踊り』では入居者の皆さんからも思わず拍手がまき起こりました。

ふだんはあまりはしゃがない Y さんも笠をかぶって思わずポーズ(笑)他の皆様も見ているだけでは飽き足らずやっぱり踊り始めます。だってそりゃ阿波踊りですから『おどらにゃソ』ですよ！



## 恒例(高齢)行事

第2アドナイ館 小澤博和

第2アドナイ館では、毎月習字教室があります。面白いことに、いきなり習字を書き始めるのではなく、まず、懐かしい歌をうたって気分をリラックスさせてから、習字を書き始めます(ボランティアの先生は、キーボードを持参して下さいます)。緊張がほぐれてからか書くので、とても良く書いております。



また、毎月誕生会があり、その月にお生まれになった入居者を祝って職員が誕生カードを寄せ書きします。その日は、昼食が特別メニューになって、当初は「食事を楽しみ祝う」という目的でしたが、毎回、なぜか職員によるかくし芸が披露されます。笑いあり、感動ありで入居者ならず、職員までも楽しみにしております。



## 職員募集(新卒者)

(第2次採用試験の案内)

平成22年4月 伊豆高原十字の園が移転新築  
オープニングスタッフ大募集

採用地区：浜松・御殿場・伊東・松崎

募集職種：介護職員・看護職員・その他

採用試験：平成22年10月2日(土) 13:30~

応募書類：履歴書・卒業(見込)証明書・成績証明書、健康診断書・作文

問い合わせ：法人事務局(担当鈴木) 資料送付  
053-582-8181

中途職員採用(常勤職員)：随時

年度途中でも常勤職員として採用します。

応募書類：履歴書・資格証明書

## 2010(平成22)年度 新規採用者



### 【浜松十字の園：13名】

(介護士) 宮本隆久・高野歩美・日置和美・伊藤直美・師岡洋子・竹地身代子・堀博美・丹羽久美子・柴田幸子・畑中佳子・杉田和代

(機能訓練士) 宇佐美好洋

(事務) 金原忍



### 【御殿場十字の園：10名】

(介護士) 依田美帆・橋本康恵・遠藤由美・天野希美香・堀田良・鈴木江里子

(保健師) 小池朋子 (看護師) 湯山博子 (施設ケアマネ) 田代みどり (機能訓練士) 橋本知美

### 【伊豆高原十字の園：7名】

(介護士) 塚原一顕・平野淳一 (居宅ケアマネ) 飯田清久 (デイ介護士) 青木恵美子

(事務) 鈴木貴雅・伊郷利恵 (看護師) 石綿智子

### 【アドナイ館：4名】

(介護士) 川端美香・岩崎誠 (機能訓練士) 岩ヶ谷佳那 (相談員) 安田匡豊

### 【松崎十字の園：2名】

(介護士) 佐藤圭恭 (機能訓練士) 佐藤崇

### 【伊東養護老人ホーム：9名】

(介護士) 梅原聖・後藤佐知子・山田敬紀・水野江里子・松田美幸・新藤圭江子・稲葉浩・辻由紀子  
(調理員) 鈴木裕之

### 【第2アドナイ館：10名】

(介護士) 鍋田千紗・浅岡明美・鈴木明子・松井利代・吉田はるみ・長谷川理江子

(看護師) 町田くに子・犬塚直子 (相談員) 夏目勝志 (事務) 鈴木宏明

計 55 名 (辞令交付式には 33 名が出席しました)

## 温かいご支援をありがとうございます！



去年度も多くの皆様からこころ温まるご支援とご寄付を賜り誠にありがとうございます。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入にあてさせていただきます。

法人本部	15件	73,000円
浜松十字の園	58件	3,619,125円
御殿場十字の園	153件	2,885,370円
伊豆高原十字の園	64件	5,650,418円
松崎十字の園	30件	1,068,600円
アドナイ館	143件	4,107,499円
御殿場アドナイ館	2件	24,641円
オリブ	1件	10,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	6件	1,122,169円
第2アドナイ館	42件	929,000円
合計	514件	19,489,822円

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しく御願いたします。

皆様の温かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345



この時期、伊豆には観光客が押しかけます。私達は通称アウトレット渋滞の中心地におり、常にデイサービスは送迎に悩みます。またこの御殿場市深沢は、映画上の架空都市「第三新東京市」のお隣。外出は渋滞です。伊豆半島にある「松崎」「伊豆高原」「伊東」と同様、この御殿場も観光地周辺の優越感と悲哀を感じる季節です。(やまもと)